学校便り「戸町っ子」No.２７

「ちがいを認める心」

　梅雨の長雨の中、１年生が大切に育てているアサガオがぐんぐん成長しています。すでに大輪の花を咲かせた鉢がある一方で、まだこれからの鉢もあります。「僕のはまだ咲かないな」と寂しそうにする友達に、ある子供が「みんなちがってあたりまえだよ！」と優しく声を掛けたそうです。

　学級通信に載ったこのエピソードを読み、大変胸が熱くなりました。１年生の心にも、本校の目標である「ちがいをみとめる」姿勢や、相手に寄り添う「グリーンハート」がしっかりと息づいています。

　現代社会では、互いの多様性を尊重し、一人一人の個性を認め合いながら全員が活躍できる社会の形成が進んでいます。アサガオの開花と同じように、子供たちの成長のペースや得意なことも千差万別です。周りと比較して焦るのではなく、それぞれの違いを豊かさとして認め合うことこそが、これからの時代を生きる子供たちに必要な資質です。

　本校の取り組んでいる教育が、未来の社会を創る確かな力になっていると改めて確信いたしました。これからも子供たちの温かい心を、ご家庭と共に大切に育んでまいります。

校長　原口　徹弥